

2026 年度 中村高等学校  
入学試験問題(推薦入試)

作 文

1 月 22 日 実施

<注意事項>

- ・ 作文の書き方、原稿用紙の使い方に合わせて書くこと。  
ただし題名はつけずに書き始めること。

| 受験番号 | 氏 名 |
|------|-----|
|      |     |

中村高等学校

このページには問題は印刷されていません

次の新聞記事を読み、あなたの考えを600字以内で書きなさい。

「SNS時代こそ言葉を大切に」

SNSの普及で、言葉の使い方が変化してきたと感じている人は多いようだ。不用意な言葉遣いが思わぬ誤解を生むこともある。日頃から言葉を大切に使うように心がけたい。

文化庁が全国の16歳以上を対象に実施した2024年度「国語に関する世論調査」の結果が公表された。社会での言葉の使い方に、SNSの影響が「あると思う」と答えた人は89%に上った。

どのような影響があるかについては「略語」や「短い言葉でのやりとり」が増えると思えた人が多かった。実際、SNS上では「お疲れさま」を「乙(おつ)」と略したり、泣きたい気持ちを「ぴえん」と表現したりする。

相手によつては意味が通じないことがある。失礼だと思われる、感情を害するかもしれない。言葉や表現は、時と場所を選び、十分に吟味して使うのが望ましい。

一方、SNSを中心に使われた結果、社会に少しずつ浸透してきた言葉もある。

「自宅にある固定電話」という意味で「家電(いえでん)」と言う人は今回52%に上った。「写真に写すときなどにきれいでおしゃれに見える」という意味で「映(ば)える」という言葉を使う人も50%に及んだ。

ただ、「インターネットの有料サービスを利用する」という意味で「課金する」という言い方をする人が46%もいた。本来なら、利用者は「課金される」側なので、受け手によつては誤用だと感じることもあるはずだ。

言葉は時代とともに変化する。意思疎通ができていれば、一概に否定すべきではないのだろう。

ただ、これが日本語の乱れにつながるのとは好ましくない。新しい言葉は、正しい日本語を理解したうえで使うようにしたい。

日頃から言語感覚を養うには、本を読み、様々な表現に触れることが有効だ。だが、最近は読書離れが危機的な状況にある。

前年の調査では1ヶ月に1冊も本を読まない人が63%に上った。情報機器の使用に時間を取られ、読書量が減った人が多いがかった。

日本語は語彙が豊かだ。時にはスマホを置いて、本を読み、異世代の人とも交流して、その一端に触れてみてはどうだろう。

今回の調査では、若い世代を中心に、メッセージ送信などのやり取りが面倒に感じるといった「SNS疲れ」もうかがえた。

「すぐに返信しなければ」と追い立てられるのではなく、一呼吸置いて、じっくり考え、丁寧に言葉を選ぶことが大切だ。

(2025年9月30日付『読売新聞』社説)